

令和7年度(一社)山口県建築士会定時総会 会場周辺の村野建築のご案内

宇部支部 原田 佳昌

令和7年度一般社団法人山口県建築士会定時総会は宇部支部引き受けにて国際ホテル宇部で開催を予定しております。

今回はご参加いただくきっかけになればよいと思い、会場から気軽に見に行ける村野藤吾建築をご紹介します。いただければと思います。

・渡辺翁記念会館

重要文化財にも指定されている宇部市を代表する建築物の一つです。

宇部市における最初の仕事であり、村野自身も「私の出世作」と語っています。

建物の前に立つ6本の柱、緩やかにカーブを描く正面壁が印象的であります。



・宇部市文化会館

渡辺翁記念会館の竣工後42年後に隣接して建てられた文化施設です。

色・デザインの調和が素晴らしいが故に別の建築物であることが意識されないため、他の村野建築と比較すると取り上げられる機会も少ないかなという印象があります。

現在、改修工事中ですが、令和8年4月開館予定となっています。



・宇部興産ビル

村野が生前最後に完成した事務所とホテルの複合施設です。

外壁の花崗岩「マホガニーレッド」(桜御影)が印象的ではありますが、アルキャスト(アルミ鋳物)の外壁パネルも注目すべきポイントかなと思います。

ANAクラウンプラザホテル宇部が令和6年3月末をもって営業終了し、ホテル棟、国際会議場棟は現在閉鎖しておりますが、事務所棟は引き続き継続して運営されています。



・旧宇部銀行館(ヒストリア宇部)

山口銀行宇部支店の新築移転後にリニューアル工事が行われ、多目的ホールとして再生されました。

令和5年度やまぐち建築セミナーの会場としても使用しましたので印象にある方もいらっしゃるかもしれません。



一人の建築家の様々な時期の作品が現存しているというのは、貴重かと思しますので、総会の参加に合わせまして、この貴重な空間を感じてもらえれば幸いです。